

令和元年度 雲仙市入札監視委員会 第1回定例会 議事概要

開催日時	令和元年5月27日（月） 午後2時00分～午後3時20分	
開催場所	雲仙市役所本館3階会議室1	
次 第	<ol style="list-style-type: none"> 1. 開会 2. 指名停止措置案件の報告について 3. 抽出案件の審議について <ol style="list-style-type: none"> ①-1 吾妻牛口東地区防火水槽工事 ①-2 市道吾妻菟塚日暮坂線改良工事 ②-1 沼田地区排水路改修工事 ②-2 準用河川金浜川河川災害復旧工事 ②-3 準用河川木指川災害復旧工事② ③ ブロア整備工事（再） ④ （質疑）全入札について、一般競争入札がない 4. その他 	
委 員 (出席者)	委員長（技術分野） 委 員（法律分野） 委 員（学識経験者） 委 員（学識経験者）	中村 聖三 川島 陽介 宅島 良則 草野 美津子

主な意見・質問	市側説明・回答
<p>①—1 吾妻牛口東地区防火水槽工事</p> <p>①—2 市道吾妻菟塚日暮坂線改良工事</p> <p>(委員)</p> <p>同日に異なる工事を同一業者が落札しているが、工事の進捗に問題はなかったか。</p> <p>②—1 沼田地区排水路改修工事</p> <p>②—2 準用河川金浜川河川災害復旧工事</p> <p>②—3 準用河川木指川災害復旧工事②</p> <p>(委員)</p> <p>辞退・不参加者が多く、落札者以外は有効な価格の範囲にない。</p> <p>(委員)</p> <p>災害復旧工事等については、業者のモチベーションを上げるために採用単価の割増や総合評価方式の加対象とするなど、方法論の見直しが必要な時期がきているのではないか。</p> <p>③フロア整備工事(再)</p> <p>(委員)</p> <p>応札額の高い業者が多い中、実質1社のみが範囲内にあり落札できる状況となっている。要因について分析はできているか。</p> <p>(委員)</p> <p>諸経費率は決まっているのではないか。</p>	<p>(事務局)</p> <p>両工事とも制限付一般競争入札であり、落札候補者となった時点で落札の意思表示ができるが、両工事とも受注意思を示し、技術者も適正配置し、一部工期延長があったが問題なく施工されたものと考えている。</p> <p>(事務局)</p> <p>災害復旧工事等においては完工高や最近の入札参加状況等を考慮して選定を行っているが、施工場所や現場状況から入札参加者が減少している。今年度は事前に履行可否確認を行い、履行可能な業者の選定を行っている。</p> <p>(事務局)</p> <p>今年度4月から、設計額500万円未満の災害復旧工事についても制限付一般競争入札を行えるように要綱の改正を行った。まずはこの制度の経過について注視していきたい。</p> <p>(担当課)</p> <p>各業者、部品の調達ルートが異なり、その単価額に差があることと、諸経費率を高く設定している業者があったことが要因として考えられる。</p> <p>(担当課)</p> <p>諸経費率の考え方は設計図書に明示していたが、一部の業者は見落としていたものと</p>

<p>(委員) 消耗部品を交換するような工事はメンテナンスと併せて長期継続契約で発注できないのか。</p>	<p>考える。</p> <p>(事務局) 一部業務については、長期継続契約ができることとなっているが、工事を含めた長期継続契約は行っていない。</p> <p>なお、この業務のように修繕的要素の強いものについては、今年度から「建設工事」ではなく、「その他業務」での発注を予定している。</p>
<p><u>④(質疑)全入札について、一般競争入札がない</u></p> <p>(委員) 建設工事において一般競争入札が採用されているが、全て「制限付」にすることが適当なのか。</p> <p>(委員) 地元業者の育成のために地域要件を定めることは問題とならないのか。違法であるという地裁の判例もあるようだが。</p> <p>(委員長) 以上、審議の結果、建設工事等の入札が適正に執行されていることを確認しました。</p>	<p>(事務局) 本市においては品質確保の観点から一定の施工実績を求めており、地元業者育成の観点から地域要件を定めた、制限付一般競争入札を採用している。</p> <p>(事務局) 本市の方針としては、地元業者育成の観点から地域要件の制限を加えている。</p> <p>これまで国や県をはじめとする他の自治体等から通知や報告は受けておらず詳細については分からない。今後情報を収集し、他市等の状況を注視したい。</p>